

一般社団法人日本看護系学会協議会主催

公益社団法人日本看護科学学会後援

第21回公開シンポジウム

「日本看護系学会協議会の日本医療安全 調査機構への貢献と今後の課題」

医療事故調査制度は医療法の改正により2015年10月にスタートしました。この制度を運営する組織として日本医療安全調査機構(以下、機構)が設立されました。本制度は医療機関で「予期しない死亡・死産事例」が発生した際には「院内調査」を行い、原因を明らかにし、再発防止策を提言するという目的を有しており、機構は制度の実施・運営を担っております。

日本看護系学会協議会はこの制度に「医療安全における他機関との協力」事業として参画しております。現在、JANAの加盟学会のうち、17学会が協力学会として登録をしており、個別調査部会・専門分析部会に委員として参加し、医療事故の原因究明・再発防止にむけてご尽力をいただいております。

今回のシンポジウムは、機構のこれまでの活動と、JANAの貢献について話題を提供し、今後の可能性について検討する時間としたいと考えております。多くの方のご参加をお待ちいたします。

日時：2018年12月16日(日)

16時15分～18時

場所：ひめぎんホール2F

第38回日本看護科学学会学術集会会場：第4会場

プログラム

1. 日本医療安全調査機構の活動と課題

畑 涼子さん

(日本医療安全調査機構 事業部参事)

2. 専門分析部会委員の立場から

石渡祥子さん

(日本看護管理学会会員・成田赤十字病院副院長・看護部長)

3. 意見交換

(司会 佐藤紀子:日本看護系学会協議会理事

東京慈恵会医科大学医学部看護学科)